

bluememe
MODEL & DESIGN YOUR BUSINESS

2025年3月期 通期決算資料

2025年5月13日

01	2025年3月期 通期業績	>	03
02	中期経営計画達成に向けた当事業年度の取組実績	>	08
03	2026年3月期 通期業績予想と成長戦略	>	19

1

2025年3月期 通期業績

bluememe

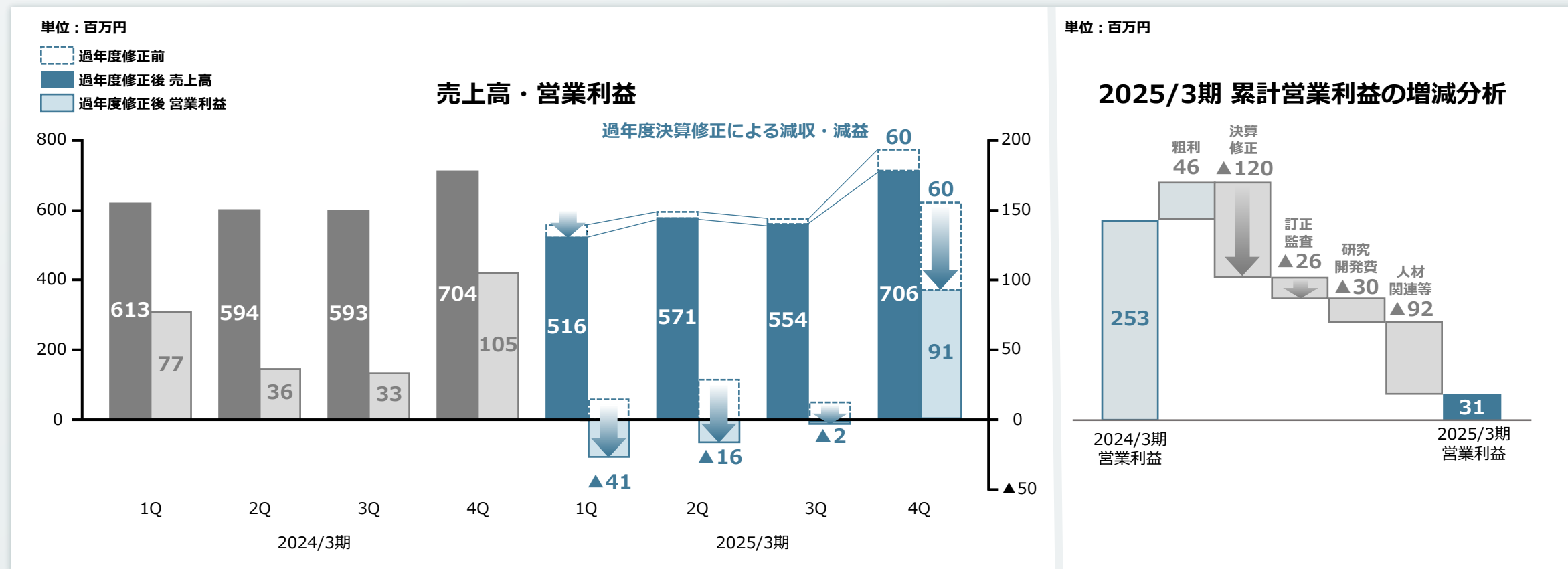
2025年3月期 通期連結 決算ハイライト

- 一部案件の開発開始タイミングの遅れなどにより売上高は業績見通しを下回ったが、コスト管理により利益は業績見通しを超過
- OutSystemsライセンスの値上げにより期初にサービス案件の受注が伸び悩み、売上高は対前年でも下回った
- 2025年3月期の売上には間に合わなかったが、足元の受注は後述の通り大きく回復

	2024/3期 通期	2025/3期 通期	増減額	対前年同期比	2025/3期 計画	進捗率
売上高	25.0億円	23.4億円	▲1.5億円	93.7%	25.1億円	93.6%
プロフォーマ EBITDA	5.3億円	1.9億円	▲3.4億円	36.3%	1.7億円	114.8%
営業利益	2.5億円	0.3億円	▲2.2億円	12.3%	0.0億円	-
経常利益	2.5億円	0.2億円	▲2.3億円	8.1%	0.0億円	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	1.7億円	▲0.1億円	▲1.9億円	-	▲0.5億円	-

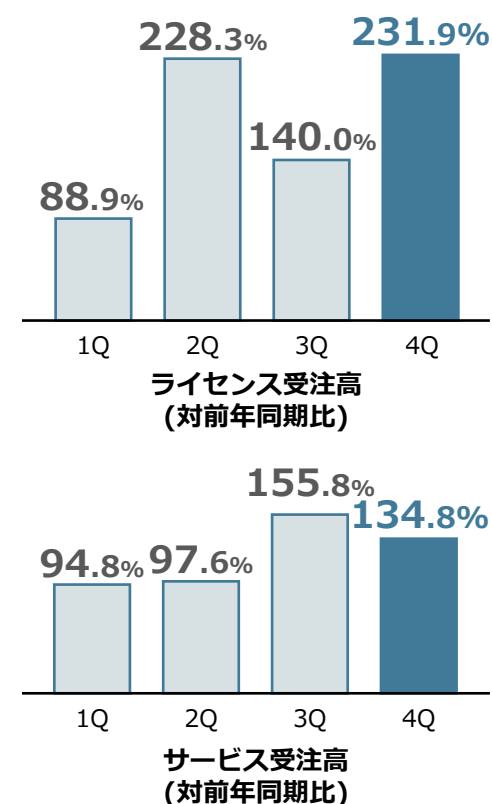
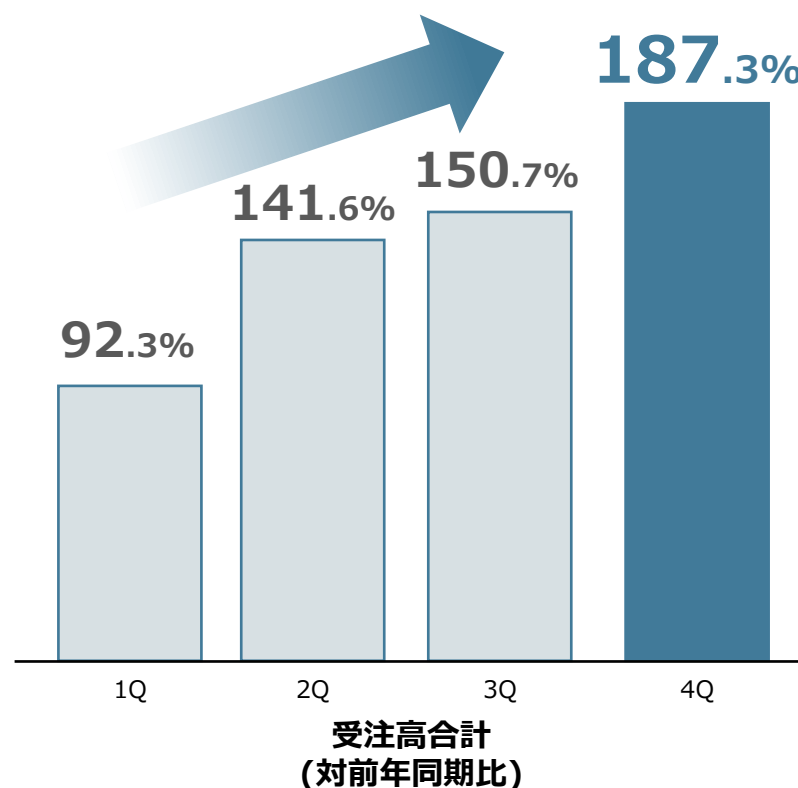
業績推移・営業利益増減分析

- 年度当初はOutSystemsライセンスの値上げ対応に工数を取られ、売上高は前年割れが続いたが第4四半期には前年プラスに回復
- 決算修正や監査報酬の追加により、利益も上期には苦戦したが第4四半期には利益を出せる状態まで改善
- 第4四半期は決算修正の影響で、利益率の高いライセンス売上減少の影響を受けたが、決算修正の影響がなければ利益も対前年プラス



受注高の推移

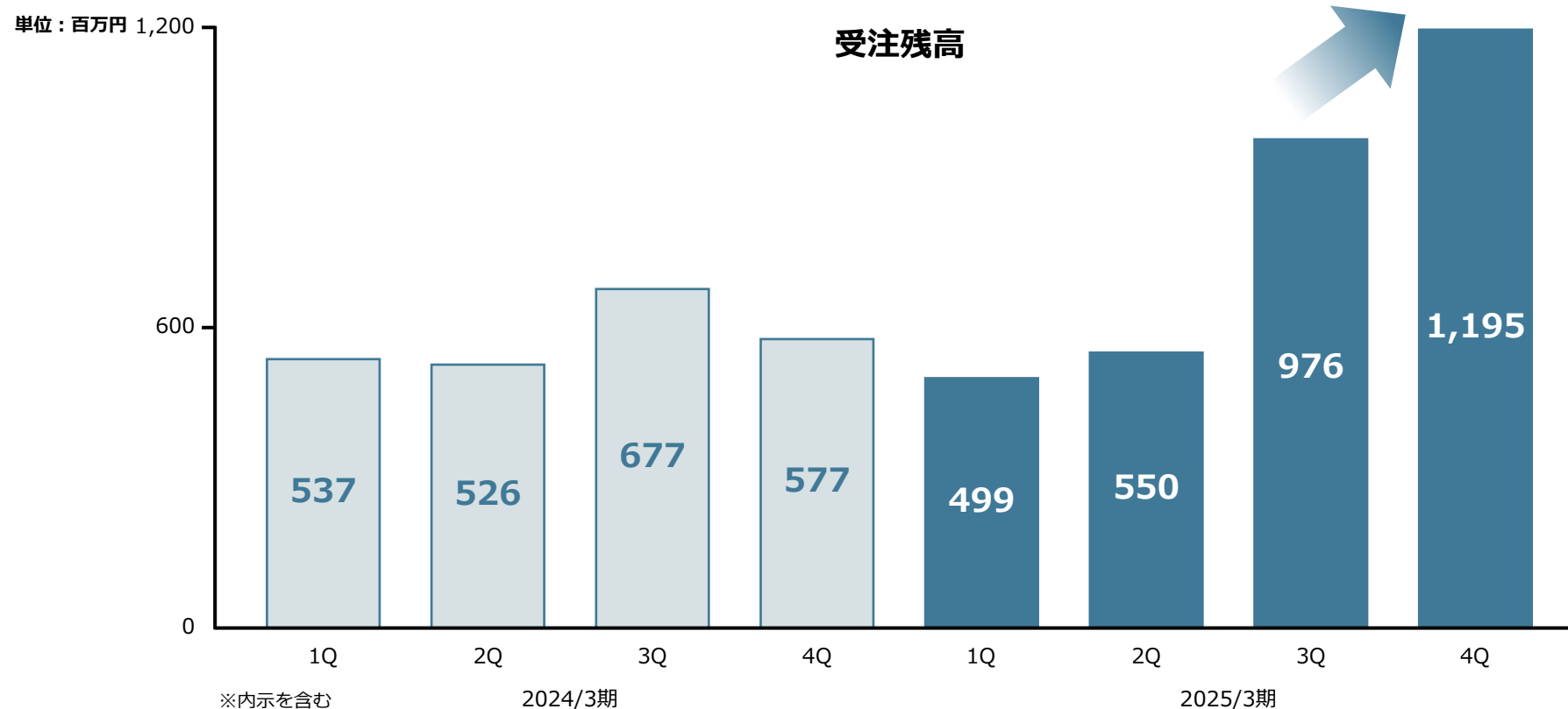
- 受注高は前年割れとなった第1四半期から期を追って回復し、第4四半期は前年比187.3%と大きく回復、通期では146.1%※
- ライセンス受注は、値上前の駆け込みの影響により第1四半期は前年割れとなったが、第2四半期以降は好調に推移し通期では176.0%※
- ライセンスの値上交渉の難航によりサービス提案開始が遅れ、サービス受注は上期に前年割れ、下期には大きく回復し通期でも125.0%※



※内示を含む

受注残高の推移

- OutSystemsライセンス価格の影響により上期は苦戦したが、販売戦略の見直しにより受注が回復
- 第3四半期から第4四半期にかけて複数の大型案件を受注したことで、対前年同期比で207%※での着地
- 2026年3月期はリソース拡充と提案内容の強化、デジタルレイバーの活用により売上の拡大を図る



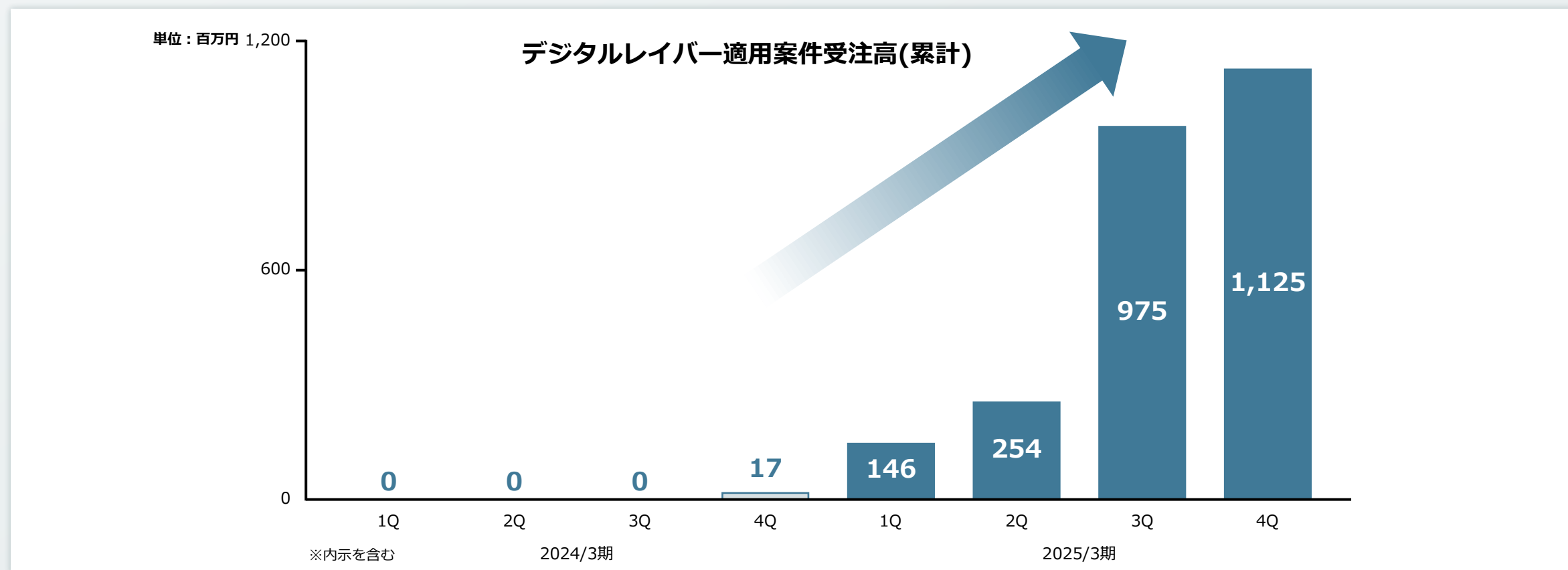
2

中期経営計画達成に向けた当事業年度の取組実績

bluememe

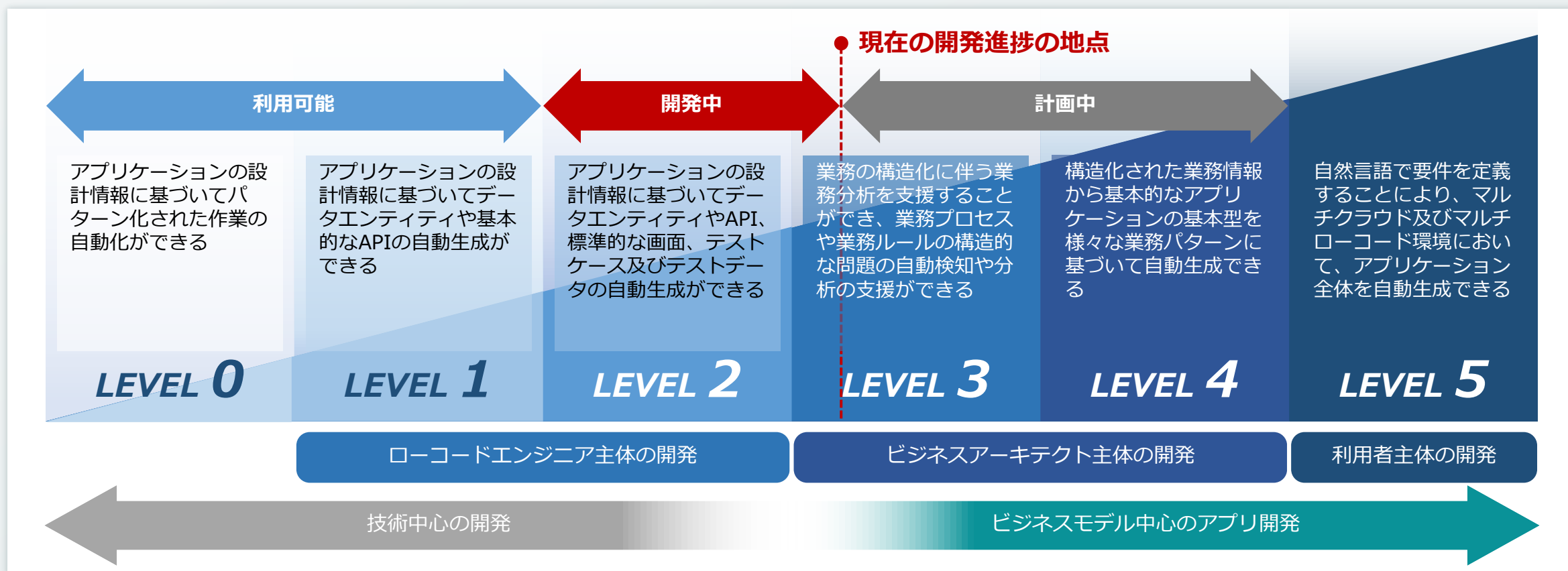
デジタルレイバーの実案件適用状況

- 2024年3月期第4四半期より実案件に適用しての開発を継続中
- 適用案件は順調に増加しており、2025年3期第4四半期には適用案件の受注金額で11億円※を突破
- 今後も適用案件を追加しLevel2、Level3の開発を進め、商用化を目指す



デジタルレイバーの開発ステージ

- デジタルレイバー開発は実案件への適用によるLevel2とLevel3部分の開発を継続中
- デジタルレイバーの適用案件の拡大により開発を推進



三協立山株式会社の基幹システム刷新プロジェクトを受注

- 三協立山社の商業施設事業を担うタテヤマアドバンス社は、業務複雑化や紙業務の課題を背景にシステム刷新に着手
- アジャイル開発およびローコードによる柔軟かつ迅速な開発体制と、業務プロセス全体を見据えた最適化提案に加え、電子帳簿保存法対応やデータ連携基盤の構築など、総合的なDX支援が評価され採用に至った
- また、システムの内製運用を見据えた支援体制が、将来的なコスト抑制や運用負荷軽減の観点からも高く評価された

プロジェクト発足の背景

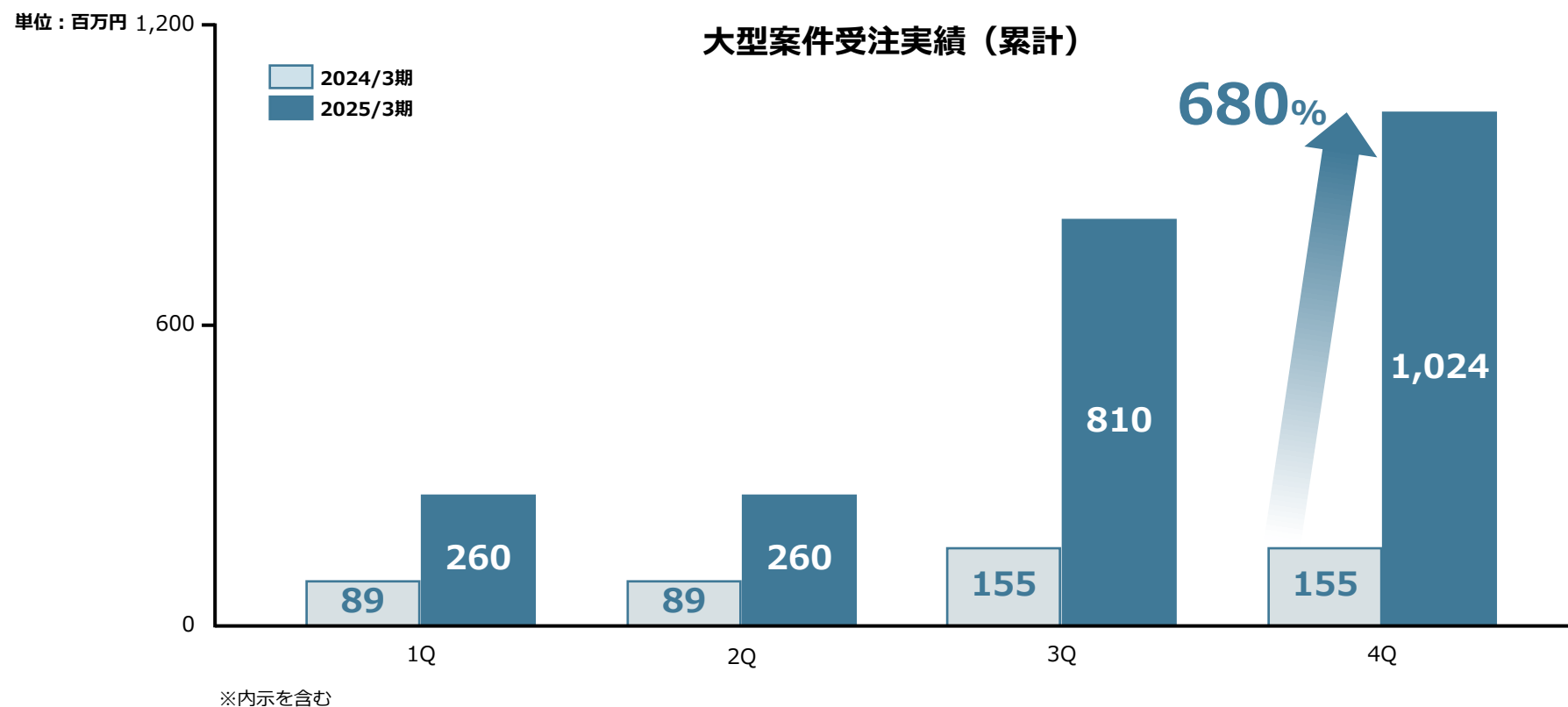
- タテヤマアドバンス社はDXを推進するも、新しいシステムの導入が容易ではなかった
- 課題を解決するため、ローコード技術を活用した柔軟なシステム基盤を構築し、業務の標準化と効率化を推進
- また、手作業の削減と情報の一元管理を実現し、業務プロセス全体のスピードと精度を向上
- さらに、システムの拡張性を確保することで、将来的な市場変化にも迅速に対応できる体制を構築

BlueMemeの支援内容

- 基幹業務システム（案件進捗管理、商業積算、販売管理）を刷新
- 業務ワークフローシステムとの連携を強化し、業務効率化を支援
- 電子帳簿保存法に準拠した情報共有基盤を導入し、仕入先とのデータ連携を円滑に行える環境を構築
- タテヤマアドバンス社の中長期的なDX戦略を支える基盤を構築

大型案件受注実績

- 上期に実施した販売ターゲットの見直しの効果があらわれ、下期より大型案件の受注が増加
- 2025年3月期第3四半期で、三協立山株式会社の基幹システム刷新プロジェクトなどを受注した
- 大型案件の受注実績は2024年3月期の1.5億円から2025年3月期は10.2億円と680%※の成長



OutSystems受注案件数最多「APAC: Closed Deals Award」を受賞

- アジア太平洋地域において受注案件数最多、OutSystemsの普及促進における貢献と実績を高く評価され「OutSystems Partner of the Year Award 2024」にて「APAC: Closed Deals Award」を受賞
- 2024年10月には、OutSystems技術者育成の実績が高く評価を受け「OutSystems Training Excellence of APAC」を受賞



マイクロコート株式会社の株式取得

- 福岡を拠点に地域密着型でデジタルトランスフォーメーション（DX）推進に注力するマイクロコートとの戦略的提携を正式に決定
- この提携により、収益力の更なる強化を図り、事業エリアの拡大に加え、九州地域におけるIT人材の育成に一層の力を注ぐ
- 両社の協力を通じて、地域企業のDXを支援し、次世代の技術者育成と持続可能な成長の基盤を確立

グループ化のメリットと今後の取り組み

- 開発リソースの強化による収益力の向上
 - 開発リソースを統合することで、既存案件への迅速な対応や新規案件の受注拡大が可能
 - 安定的かつ持続的な収益基盤を築き事業成長を実現
- 事業エリアの強化による地域密着型の迅速な対応

マイクロコートの地元企業との関係性や業界理解を活用することで、地域特有の課題解決に貢献
- 人材採用・育成によるエンジニアリソースの拡大とサービス品質向上

当社が持つノウハウを共有することで、教育体制を強化し、即戦力となるエンジニアをより多く育成



株式会社AIKと資本業務提携

- BlueMemeは、AI技術を活用した警備システムを提供し警備業界のDXを推進するAIKとの資本業務提携を締結
- BlueMeme Partnersが運営する「BlueMeme 1号投資事業有限責任組合」を通じてAIKへ出資を行い、警備業界のDXを加速し、警備人材のスキル向上と次世代の安全保障基盤の強化を目指す

提携の背景と目的

- 日本の警備業界はDXの進展が遅れ、業務効率の停滞や人材不足が深刻化
- AIKが提供するDXソリューションと当社の技術力を掛け合わせ、警備業務の自動化をWebプラットフォーム上で実現
- これにより、リアルタイムでの情報共有や分析を可能にし、迅速な意思決定を支援
- AIKは業界特有のニーズに応じた機能開発を行っており、警備業界全体の業務効率化とコスト削減、安全性の向上に貢献

提携内容

- **警備業界特化型DXソリューションの提供**
最新技術とシステム開発のノウハウを駆使し、警備業務の自動化とデータ活用を加速
- **教育プログラムの共同開発**
DXソリューション導入後の人材育成を包括的に支援するプログラムを構築
- **業界全体の価値向上**
両社の強みを掛け合わせることで、警備業界のイメージ向上を目指す

ナーブ株式会社への出資完了

- BlueMeme Partnersが運営する「BlueMeme 1号投資事業有限責任組合」は、XR(仮想現実)サービスを展開するナーブへの出資を完了
- 今回の出資を通じて、ナーブのさらなる成長とXR技術を活用した新事業の拡大を支援

ナーブについて

- XR技術を活用した革新的なサービスを提供する企業
- 不動産業界や旅行業界向けに、革新的なバーチャル体験サービスを提供
- 同社はすでにこの分野で「VR内見® 業界No.1」として確固たる市場シェアを確立
- 安全性が求められる業務や、地理的な制約によりリソースの同時共有が難しいビジネスの課題解決を支援するサービスも展開
- 大手不動産情報サイトと業務提携し、広範な不動産業界に「VR内見®」を提供。営業効率を向上。

出資理由

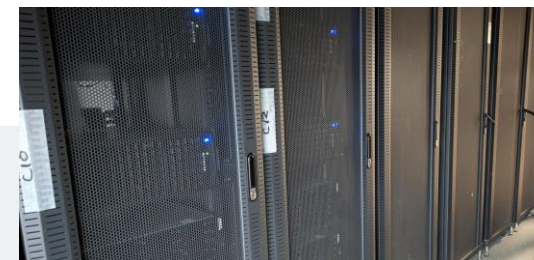
- 卓越した技術力と市場での高い成長ポテンシャルを評価
- 同社のXR技術が人材育成や作業手順の支援において有効
- XR技術とデータ解析を活用したビジネスの発展に期待
- 介護・福祉や医療分野における豊富なパートナーシップを活かし、顧客ニーズに応じた新たなVRサービスの提供を計画

九州大学と進める量子AI研究 – バイオメディカル分野への応用

- 当社は2023年4月より九州大学生体防御医学研究所と共同で、量子AIを活用したバイオメディカル言語モデルの社会実装に向けた研究を推進中。本取り組みにより、バイオメディカル情報解析分野におけるAI技術の発展と、量子コンピューティング技術の社会実装を推進。2025年内に、本研究成果の一部を論文として発表予定

- プレスリリース：BlueMemeと九州大学、量子AIを用いた大規模言語モデル構築のための共同研究を開始
<https://www.bluememe.jp/press-release-2023-06-14/>
- プレスリリース：BlueMemeと九州大学、ネットワークAI統計解析基盤の研究開発を開始
<https://www.bluememe.jp/press-release2023-12-12/>

量子計算シミュレーション用HPC
(九州大学生体防御医学研究所)



量子AIとは？

量子AIは、量子コンピュータの計算能力とAI技術を組み合わせることで、従来のAIよりも高度で高速な処理が可能になる技術です。

この技術は、特に**膨大なデータ処理**や**複雑な最適化問題**を解決する際に大きな効果を発揮します。

従来のAIとの違い

データ学習効率：

量子コンピュータの特性により、少数のサンプルからでも効果的にパターンを抽出し、学習が可能（従来のAIでは大量のトレーニングデータが必要な場合にも適用）

最適解の探索：

複雑な予測タスクに対して、より精度の高い解を導き出す

情報処理能力：

量子重ね合わせにより、従来のコンピュータでは現実的な時間で計算できない膨大な組み合わせの同時計算が可能

自己株式の取得

- 2024年8月20日開催の取締役会において、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため、自己株式取得を決議
- 2024年11月14日開催の取締役会において、株主の皆様への更なる利益還元と資本効率の向上により、適切な株主価値の実現の遂行を目的として、取得し得る株式総数および株式の取得価格の総額を拡大
- 2025年3月31日時点で67,100株（取得上限株式数の約45%）を取得済。今後も現行の取得枠を上限に継続的に買付を実施する

取締役会決議内容

買付実績（2025年3月31日時点）

取得期間

2024年8月21日～2025年8月20日

2024年8月21日～2025年3月31日

取得し得る株式の総数

150,000株（上限）
発行済株式総数（自己株式除く）に対する割合
➡ 約4.2%

67,100株（取得上限の約45%）

株式の取得価格の総額

150,000,000円

71,014,400円（取得上限の約47%）

3

2026年3月期 通期業績予想と成長戦略

bluememe

通期業績予想

- 2025年3月期においてサービス案件の提案時期が遅れた影響が残り、2026年3月期の売上高は中期経営計画を下回る見通し
- 売上高が計画値を下回ることに加え、採用やトレーニングなどの人的投資、デジタルレイバーの研究開発、M&Aなどの戦略的投資を継続的に実施予定であることから、利益についても中期経営計画を下回る見通し
- 今期は基幹システムのマイグレーション案件をターゲットに営業活動を実施し、前年度を大幅に超える売り上げの達成を目指す

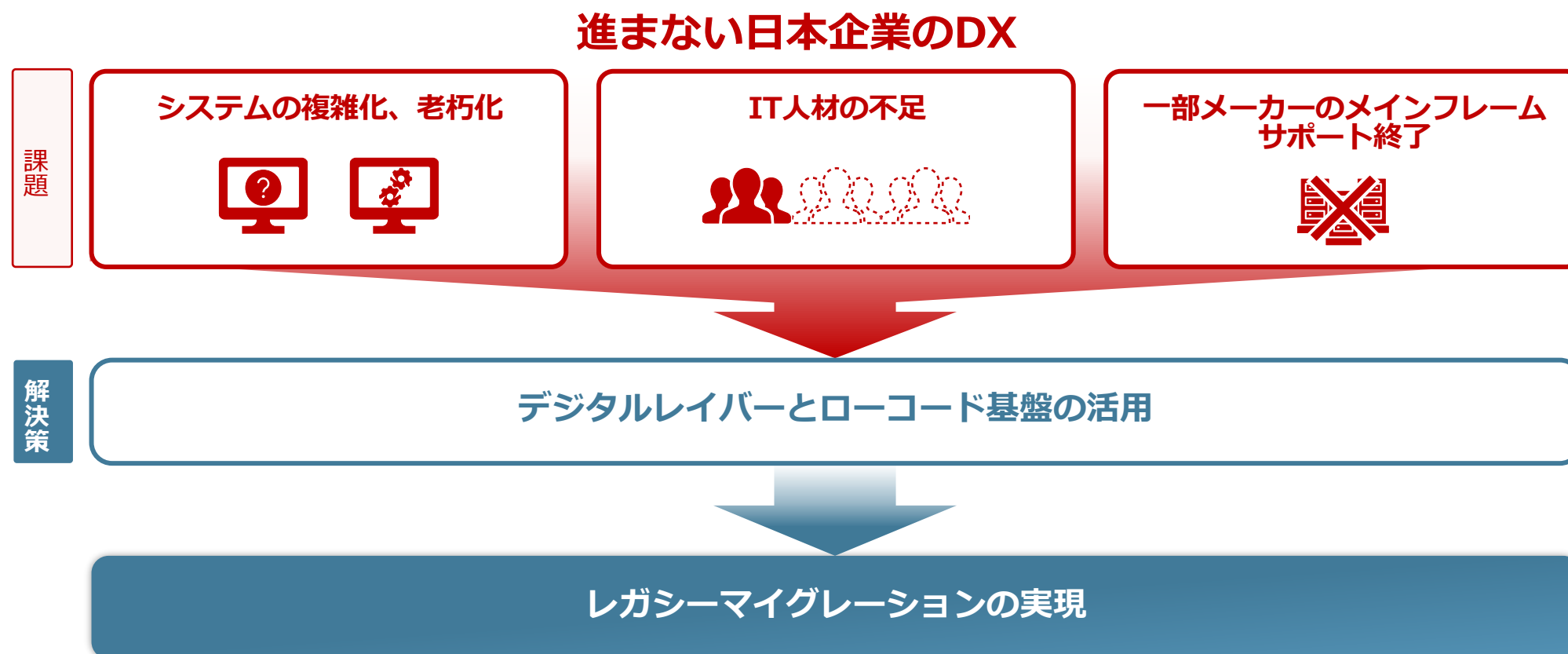
単位：百万円

	2025/3期 通期実績	2026/3期 通期予想	対前期増減率
売上高	2,349	3,300	40.4%
営業利益	31	150	379.9%
経常利益	20	150	627.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲17	100	-

(注) 金額は百万円未満切捨

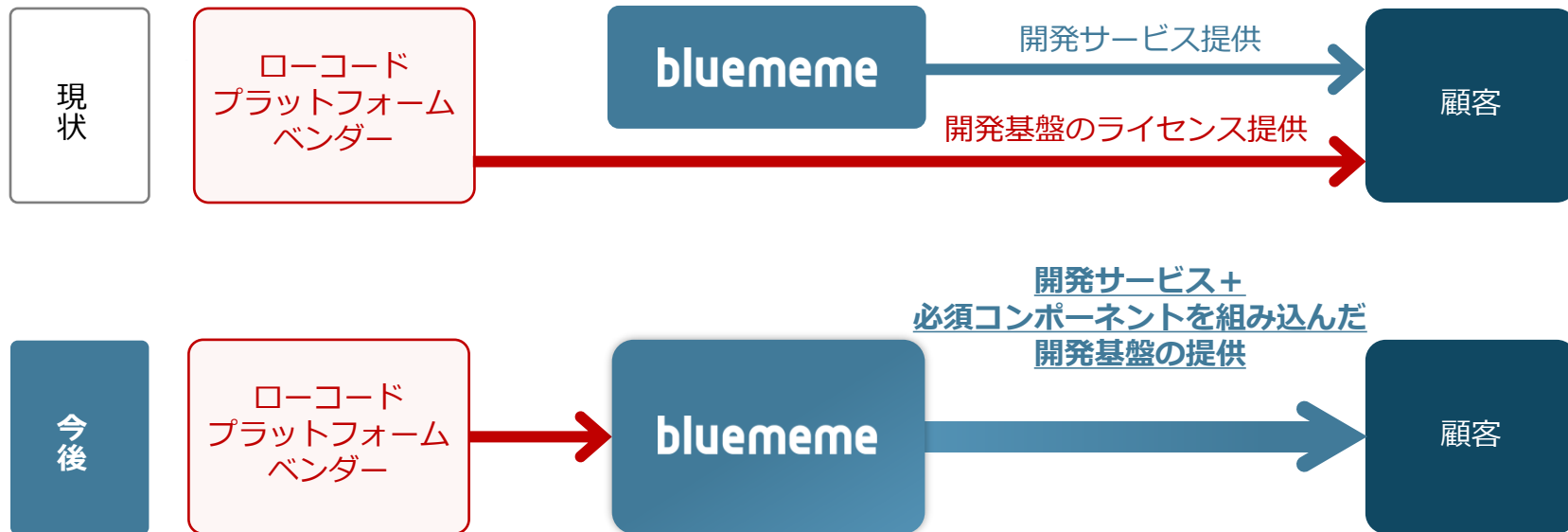
2026年3月期は基幹システムのマイグレーション領域にフォーカス

- 需要の増大する基幹システムのマイグレーション領域を、2026年3月期の新規顧客獲得のターゲット領域とする
- デジタルレイバーとローコード基盤の活用など当社の強みを活かしDX推進を支援



ユーザ企業のローコード開発基盤の活用を支援する付加価値の提供

- 現状、当社では、開発サービスと並行して、ローコード開発基盤のライセンス販売を提供
- ローコード開発基盤の普及が進む中で、当社ソリューションの差別化を図るためにも、開発・運用サービスとの一体提供だけでなく、ユーザ企業のローコード開発基盤の有効活用を支援する各種コンポーネントをあらかじめ組み込んだ形での提供を拡大



ユーザ企業がローコード開発基盤の有効活用に必要なExcel帳票コンポーネント等の機能を組み込み